

# 今日がテスト2週間前

今日がテスト2週間前。新型ウィルス感染防止対策のための「休校措置」で、1学期の授業は変則で進んだ。今度のテストをなんと呼べばいいのか。授業再開から1ヶ月と約2週間でのテスト。3年生は国社数理英の5教科と美術。例年で言うと「中間テスト」での教科数。

今年は1学期末での総括的評価の「評定」は出さない（出せない）。「**一つを以て、全てとしないが評価の大原則**」だからこそ、高校入試も「評定」と「入試得点」等という複数の材料で総合的に評価する。「評定得点」にしても、公立高校は「1年評定」「2年評定」「3年評定」と3年間の複数の評定を得点化する。私学においても、授業料免除などの「特待生」の合否には「3年間の評定」を基準として用いたりする学校も多い。

今年度の評定は「2学期中間」を終えた「11月期評定」も出し、11月の三者懇談を行う。三年生はさらに、「2学期期末」も踏まえた「二学期末評定」での12月三者懇談も行う。ここで「進路事務依頼書」の提出をお願いし、1月早々からの出願事務に入る。**公立前期・私立入試に用いられる評定はこの「12月末評定」**である。だから、「12月評定」は今回の「7月テスト」「2学期中間」「2学期期末」を踏まえた評定になる（勿論、その他のレポート点等も踏まえたものであるのは言うまでもない）。

3年生によく聞かれる、「**テスト勉強はいつから始めたらいですか？**」と。「定期テスト対策」にしろ、「入試対策」にしろ、テスト勉強はやらなくてはならない内容との関わり。「何時間やるのか？」「何日間やるのか？」の時間が先にあるのではなく、「**何をやる必要があるのか？**」「**その内容に対してどれだけの時間を必要とするのか？**」の内容のリストアップが最初である。

右は国語の授業で便利グッツの一つとして紹介した「付箋・ポストイット」の1つ。「date(日付)」「check(チェック)」「To do(やるべきこと)」を記入する付箋。こんなのが「To do List」と言うらしい。「やらなくてはいけないと」を書きあげることから始めよう。それによって、必要とされる学習時間は算出されよう。

「date(日付)」は“いつやるか”でもいい。あるいは“いつやったか”の記録でもいい。大切なことは「やらなくてはいけないこと」をリストアップすること。

2・3年生には今までのテストに対する経験値がある。

部活動が停止になる1週間前で十分だったのか。自分の「過去」を振り返って、これからのは「未来」に活かさなくてはならない。それが「経験値」だ。同じ失敗と後悔を繰り返しては「暖簾(のれん)に腕押し」「糠(ぬか)に釘(くぎ)」である。キャリアパスポートに書くのはこの「経験値」。

「先生、頑張ろうと思っても『試験範囲』がわかりませ

ん！」と言う人がいるかもしれない。「試験範囲は習ったところです」。習ったところ、習った内容をリストアップしなさい。それが「学習内容（テスト勉強する内容）」です。まさか、このリストアップで、「国語」とか「社会」とか、教科名をあげたりはしないでしょう。「国語」の何を勉強する必要があるのか、つまり「やらなくてはいけないこと」は何かを書きあげてください。

“「全国制覇」の「間違った漢字」を書けるように練習する” “活用形の見分け方の練習問題をもう一度やる”と、具体的になればなるほどよいのです。 「To do List」を書きあげよう。

# 7月1日が第1回進路希望調査の締切

「第1回進路希望調査」の締切は7月1日(水)です。今日の「総合的な学習の時間」では進路について学習をしました。その内容は理解できたでしょうか。

## I 公立の入試の制度について知っていますか?

■ 京都府の公立高校の入試制度は

「通学圏制」「単独選抜」と言われる制度です。

Q1 「通学圏制」って何ですか?

① 志願(受験)できる「高校」「学科」が

保護者の住所によって限定される制度です [P5参照](#)

② 私たちは「**京都市・乙訓地域**」という通学圏です

③ **普通科**は通学圏の普通科に限定されます。

**例外**: スポーツ総合専攻

④ **専門学科**の中には京都府全域が通学圏の学科もあります

**具体例**: 堀川探究、嵯峨野こすむす、桃山自然科学、城南菱創

教養科学、鳥羽グローバル、工学院、京都すばる、海洋 等

何人から、進路希望調査について質問を受けました。「わからない点を質問する」は大変いいことだと思います。

Q. 「A1」「A2」の違いは何ですか?

**気になったことは「メモをし、質問してください」。**

「A2」の方式は「B方式」と同じく、部活動などの「活動実績報告書」の配点も多い受検の仕方です。顕著な活動実績のない人の多くは「A1方式」で受検をしていきます。

「A2方式」と「B方式」の違いは、検査内容が「国数英のペーパーテスト」か「小論文」かの相違です。「前期選抜要項」によって明確になります。前期要項は9月以降に正式発表されます。

Q. 「奏和」ってどんな学校ですか?

「昼間定時制」と呼ばれる来年度開校される学校です。まず、「**進路便りNo.5**」を見直してください。「定時制」ですから、

**「毎日学校に通う」必要**があります。高校ですから、「修得主義」「課程主義」です。所定の教育課程を履修して、目標に關し、一定の成果を上げて単位を修得することが必要です。全日制・定時制に進んだ「勉強にあまり自信のない生徒」には、私はこう言っています。「まずは、毎日休まずに学校には行きなさい。勉強で赤点をとったりしても、高校の先生は『補習』や『追加レポート』などで進級や卒業を応援してくれるから、頑張ってそれにも参加しなさい」と。

「奏和」高校は通信制ではなく昼間定時制ですから、「**集団での学習**」が前提です。20人規模の集団です。ここが、この集団の人数の相違が通信制・総合支援学校との大きな違いだとも思います。

新しい学校なので**7月23日(木・祝)と24日(金・祝)との説明会には必ず参加してください**。募集定員は80名の予定です。昨年度の説明会の際にも既に300名程度の参加者があったと聞かっています。平成27年度に開校した「清明高校」の初年度入試の倍率はA・B方式双方を合わせて2.37倍でした。定員120名に対して、出願者322名、受検者286名です。286名の受験者に対して不合格者は166名。不合格者の方が多かった結果です。「奏和」も似た状況になることも考えられます。それだけに必ず説明会への申込をしてください。申込は6月30日(火)からですので、早い目に申込をしてください。

**期日の守られない「申請」「申込」は受け付けられません。** 進路希望調査も期日厳守で。